

2015年7月25日
第47回日本医学教育学会大会
O-37-3「東洋医学・漢方医学教育」



長崎大学病院における
研修医に対する研修医漢方教育の試み

長崎大学病院医療教育開発センター
松島 加代子、小畑 陽子、塚本大空、神白麻衣子、渡邊 毅、
古賀 智裕、宮本 俊之、長谷 敦子、浜田 久之

日本医学教育学会大会

COI開示

筆頭演者名：松島 加代子

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある
企業などはありません。

背景

卒前教育と比較して、研修医に対する漢方教育の報告は少なく、その方法も定まってない。

当院では、研修医の院外外来研修(プライマリ・ケア研修)を早期から行っており、早期の漢方教育も必要性が大きい。

目的

研修医に対する漢方教育を導入し、その教育方法を評価することを目的として、研修医の意識調査を行った。





方 法



H25、26年度1年次研修医(各々44名、31名)を対象に、漢方に関する講義を春(4月)、秋(11月)の2回行った。

・アンケート

講義前後でアンケートを行った(計4回/人)。

アンケート項目

- (1)漢方への興味、(2)処方経験の有無、
- (3)処方しなかった理由、(4)希望する講義内容など。

・講義内容

症候や処方例を中心に、実際の漢方薬の味見など。
H26年の秋講義～腹診シミュレーターを使用した。

講義内容(例)H25年度

①漢方の処方状況

②漢方の歴史・生薬の生産(例:人参、山椒、姜類)

③診断学:(気・血・水)

④副作用:注意する生薬(例:甘草・麻黄)

⑤症候と漢方薬



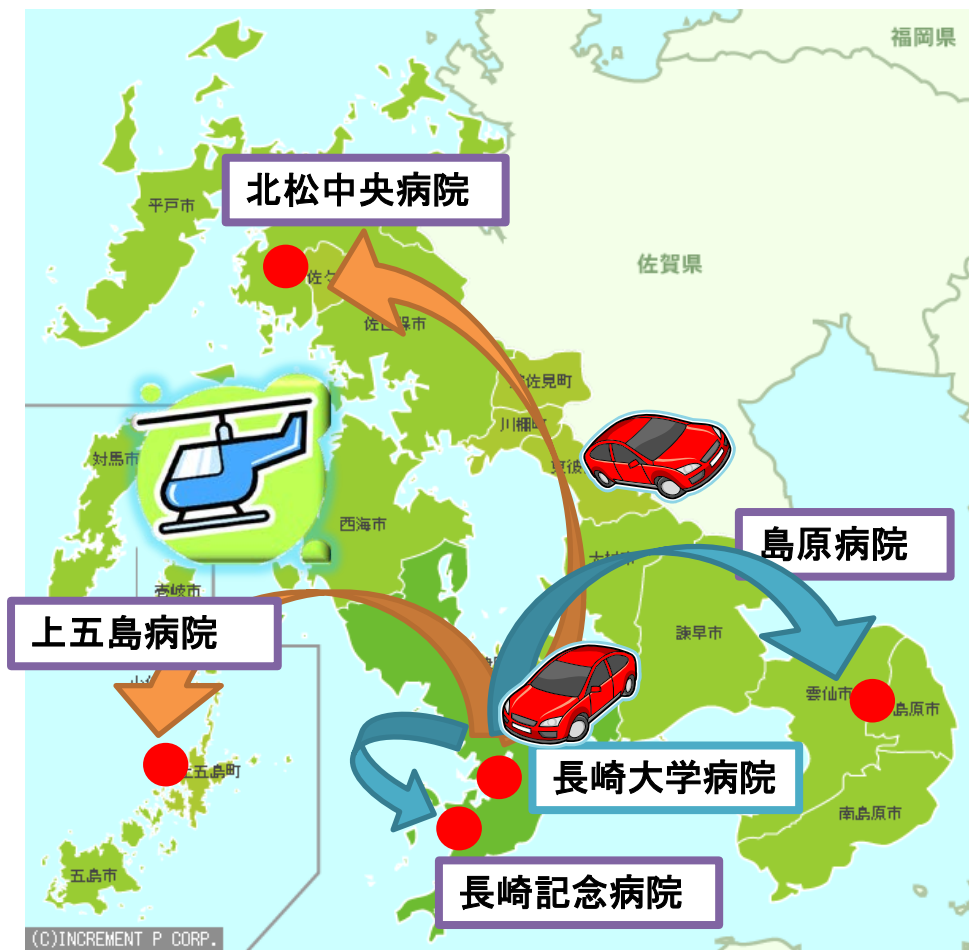
症候	漢方薬	構成成分・効果以外の内容
咳嗽	麦門冬湯	EBM(咳嗽ガイドライン)
術後腸管麻痺	大建中湯	EBM(大腸癌入院日数)・ 試飲
神経症・認知症	抑肝散	(育薬)
抗がん剤副作用	牛車腎気丸/半夏瀉心湯	(育薬)
感冒・肩こり	葛根湯	臨床データ・ 試飲
食欲不振	六君子湯	薬理作用・EBM(上腹部愁訴・グレリンに関する試験)

講義風景(例)H26年度



実践

(処方機会) ①入院病棟 ②外来研修



結果

～アンケート結果から～

【結果1】 漢方への興味

- ・漢方に対する意識調査と興味

【結果2】 処方について

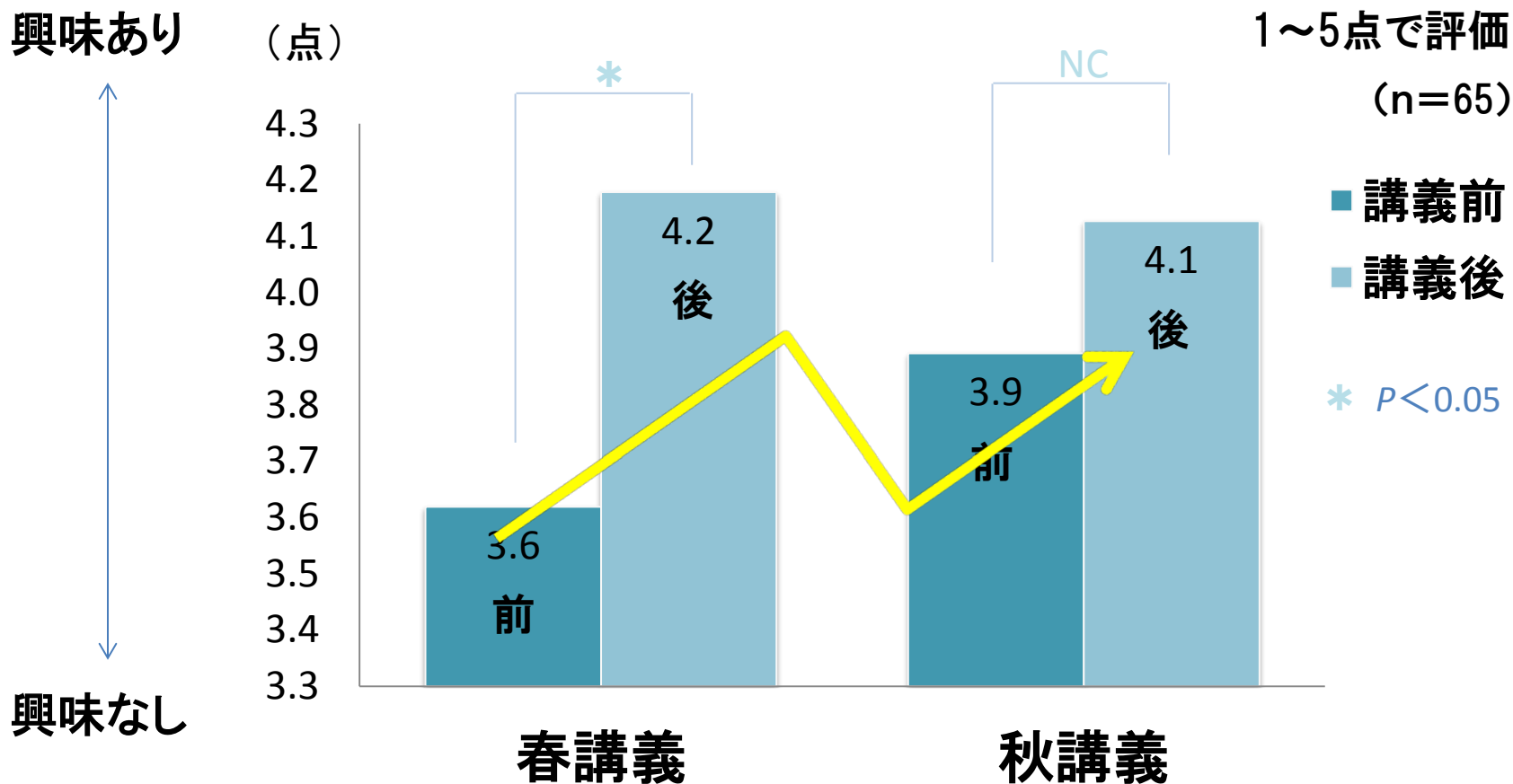
- ・実際の処方経験にどうつながったか

【結果3】 漢方教育について

- ・漢方教育は必要か
- ・どのような内容を希望するか

【結果1】 漢方に対する興味

【各講義前後の興味の変化】



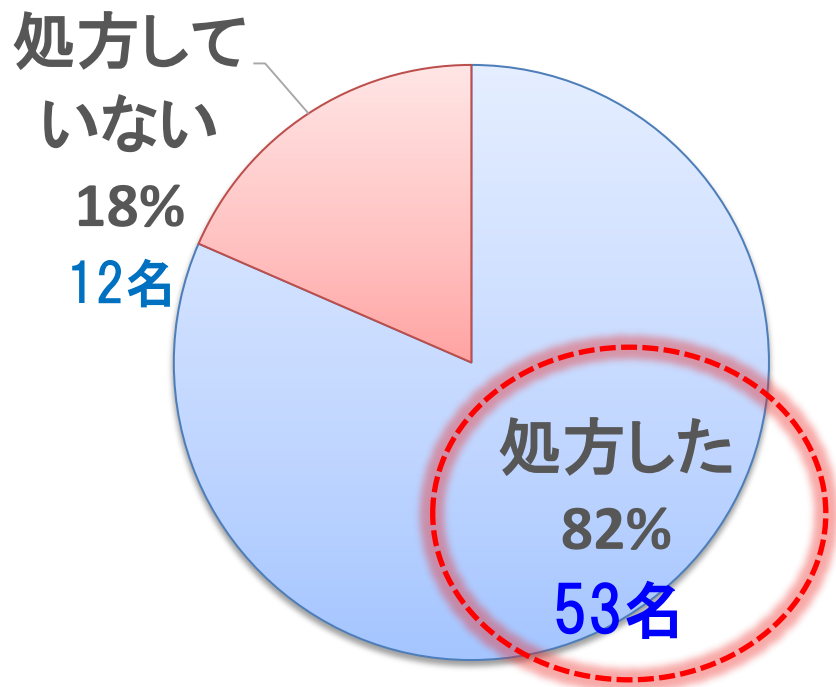
⇒ 講義により興味は高まるものの、定期的に意識づけする必要がある

【結果2】 漢方薬処方について

【処方状況】

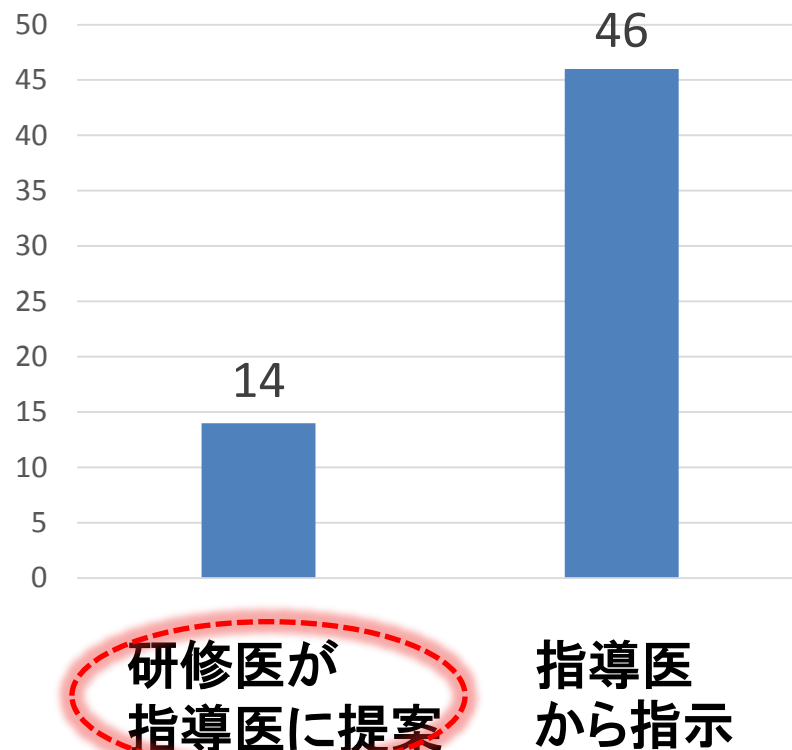
期間：秋講義時(研修7ヶ月)

(n=65)



■ 処方した ■ 処方していない

(n=53)



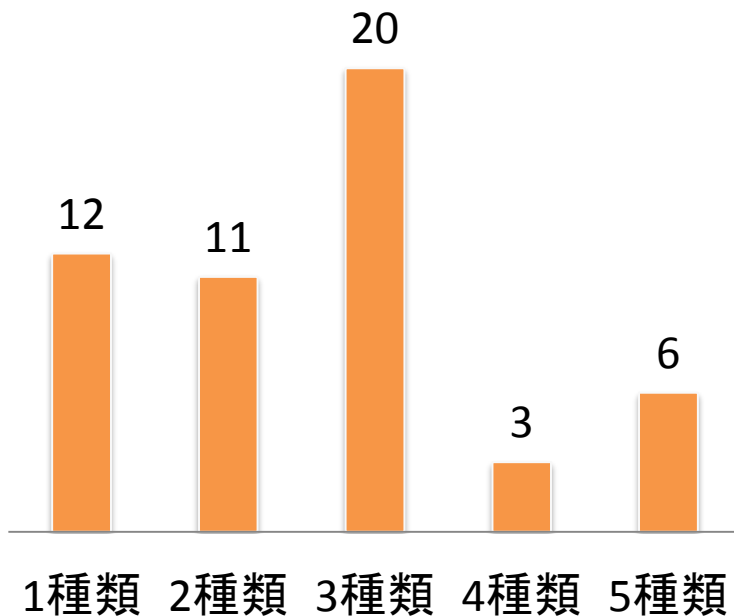
⇒ 処方の機会のみでなく、指導医へ提案する場合もあった

【結果2】 漢方薬処方について

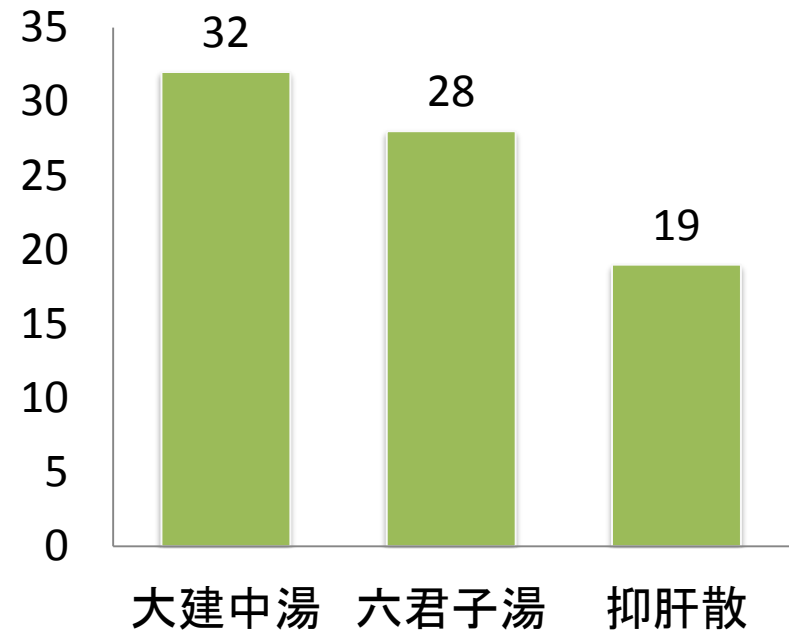
【処方状況】

期間：秋講義時(研修7ヶ月)
(n=52)

何種類処方したか？



何を処方したか？(上位3種)



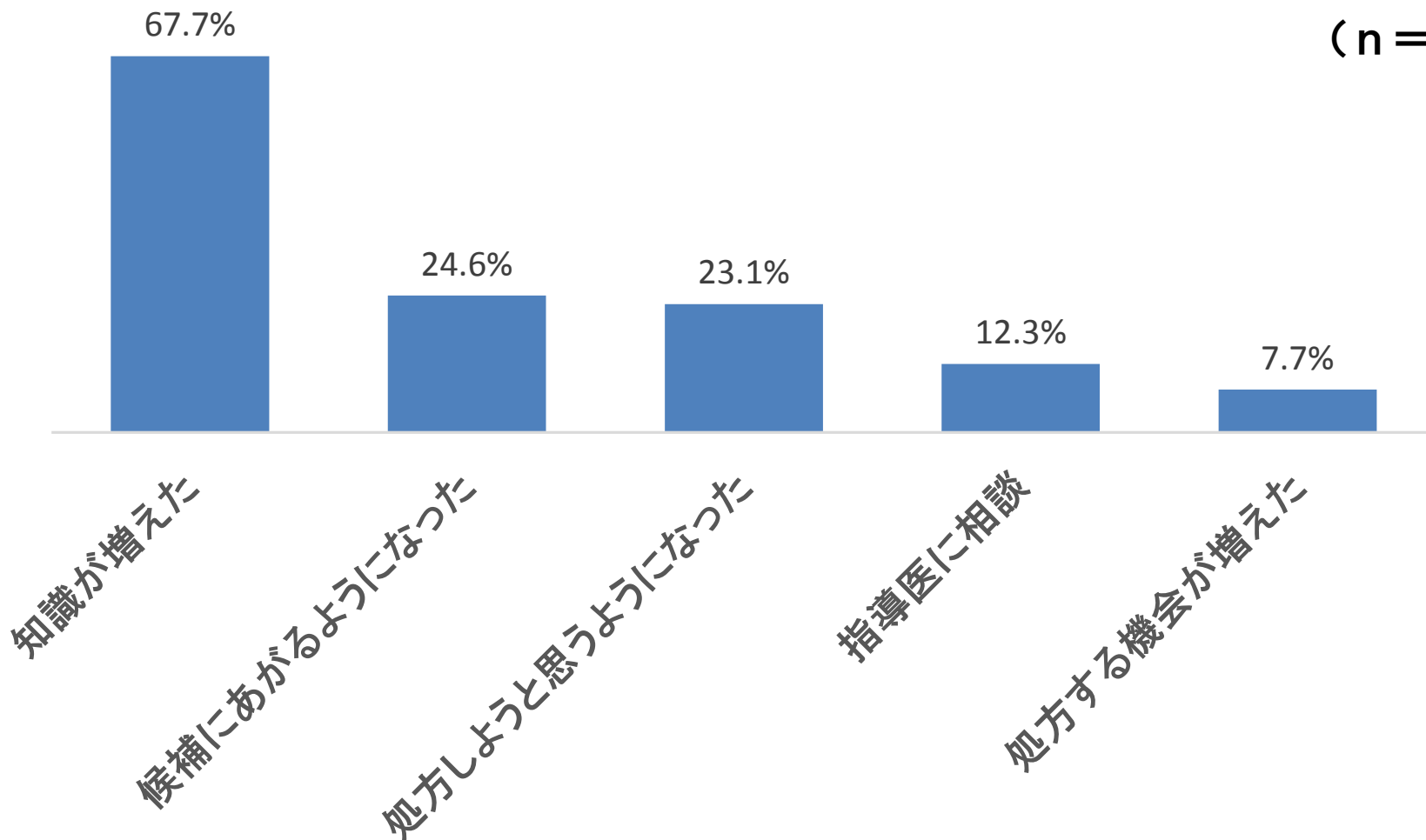
入院患者は外科系診療科で、
外来患者はプライマリ外来研修にて処方する機会が多かった

【結果2】 漢方薬処方について

受講した結果

期間：秋講義時(研修7ヶ月)

(n=65)

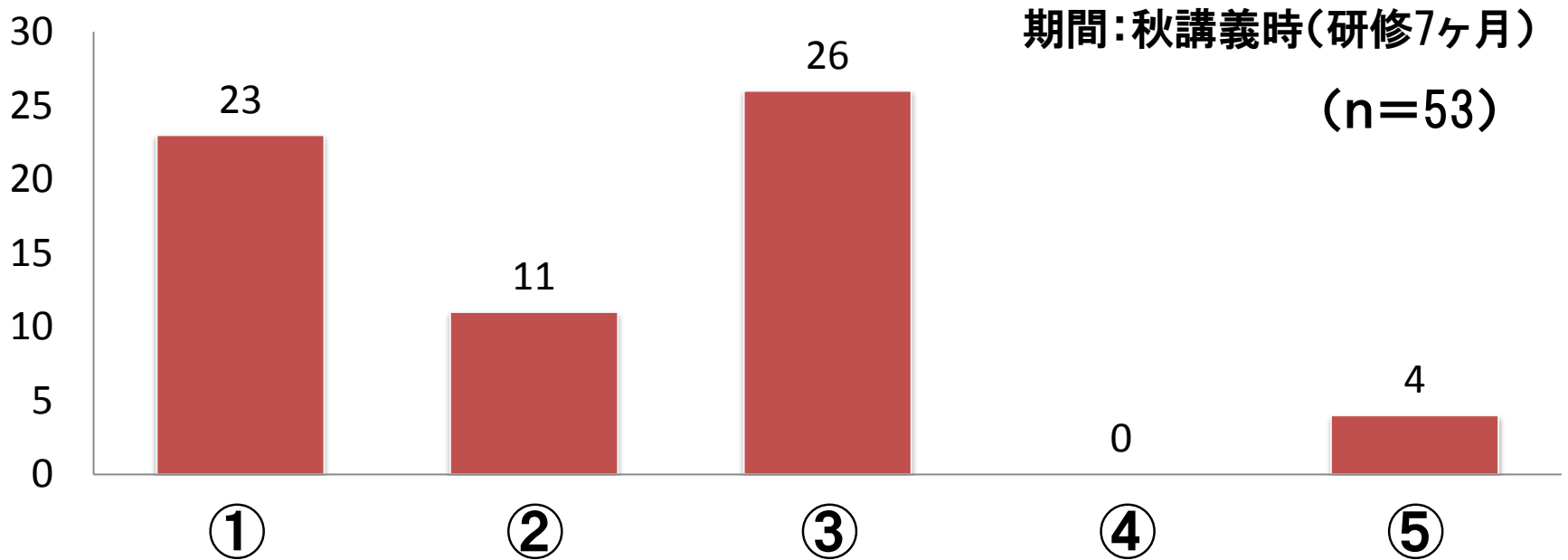


⇒講義で知識が増え、処方する動機づけとなった

【結果2】 漢方薬処方について

処方した感想

- ①効果を実感した
- ②効果はあまり感じなかった
- ③もっと漢方を勉強し、うまく使えるようになりたい
- ④漢方薬は必要ないと感じた
- ⑤その他

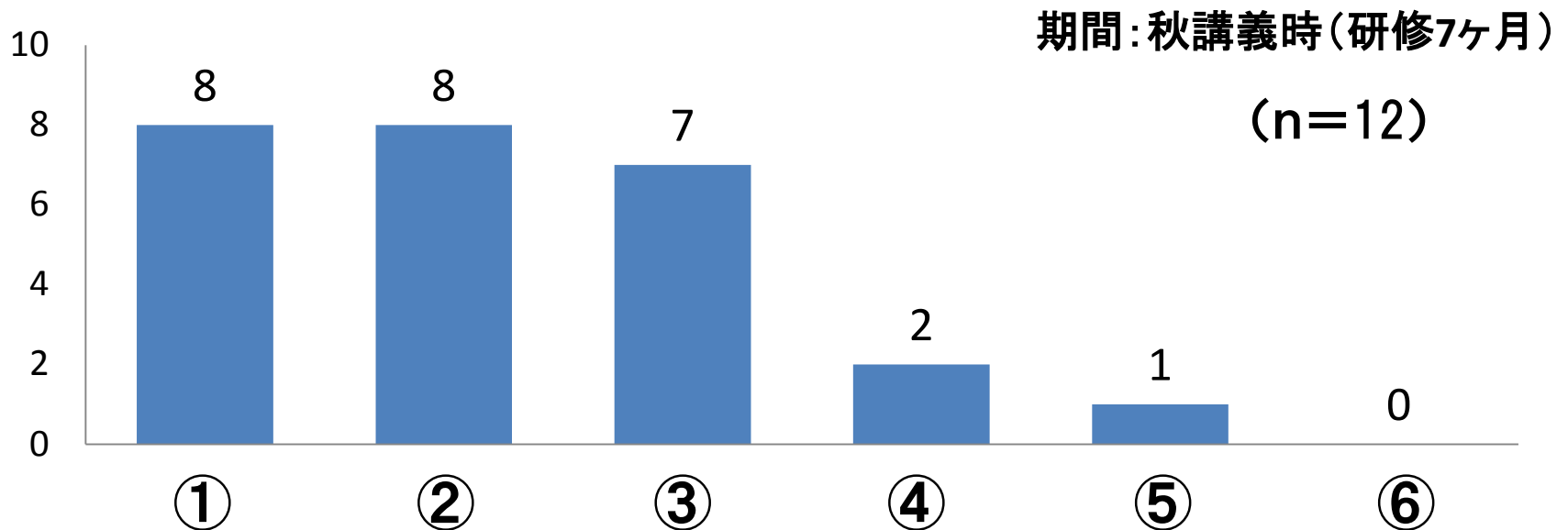


⇒処方後に経過観察できないため、効果を実感する機会が不足

【結果2】 漢方薬処方について

処方しなかった理由

- ① 指導医が漢方薬を処方しない(薦めない)
- ② 機会がない
- ③ 使い方がわからない
- ④ 今のところ必要性を感じない
- ⑤ 漢方に興味がない
- ⑥ その他

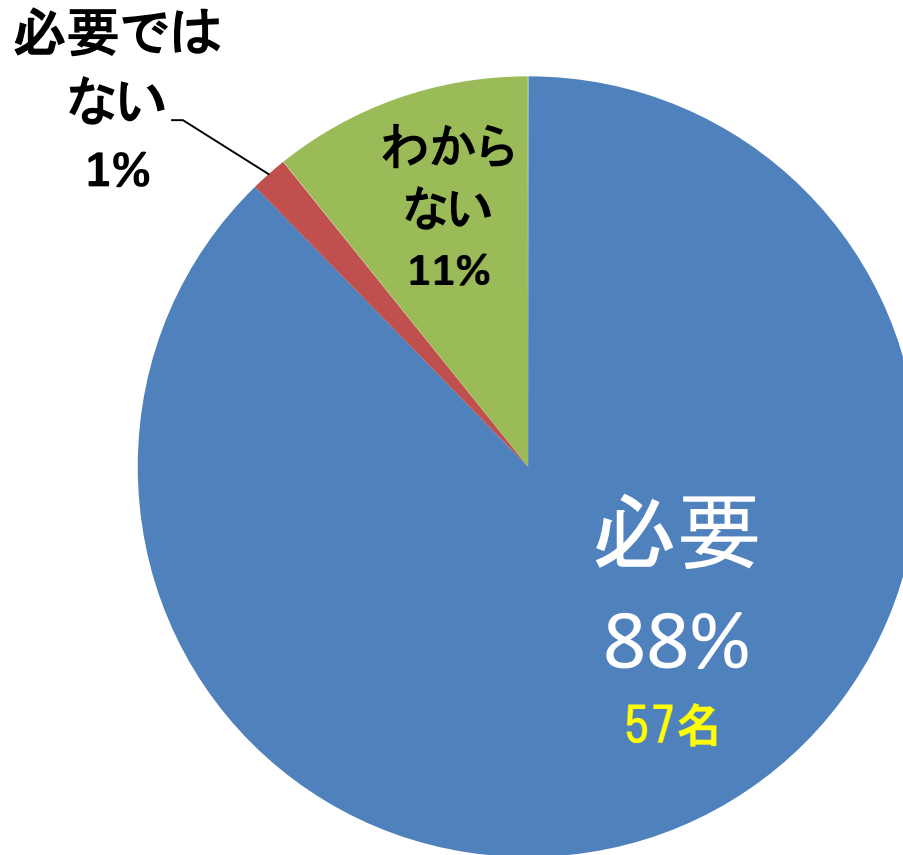


⇒処方しない一因は、指導医が薦めていないことにある

【結果3】 漢方教育について

【研修医が勉強する必要性は？】

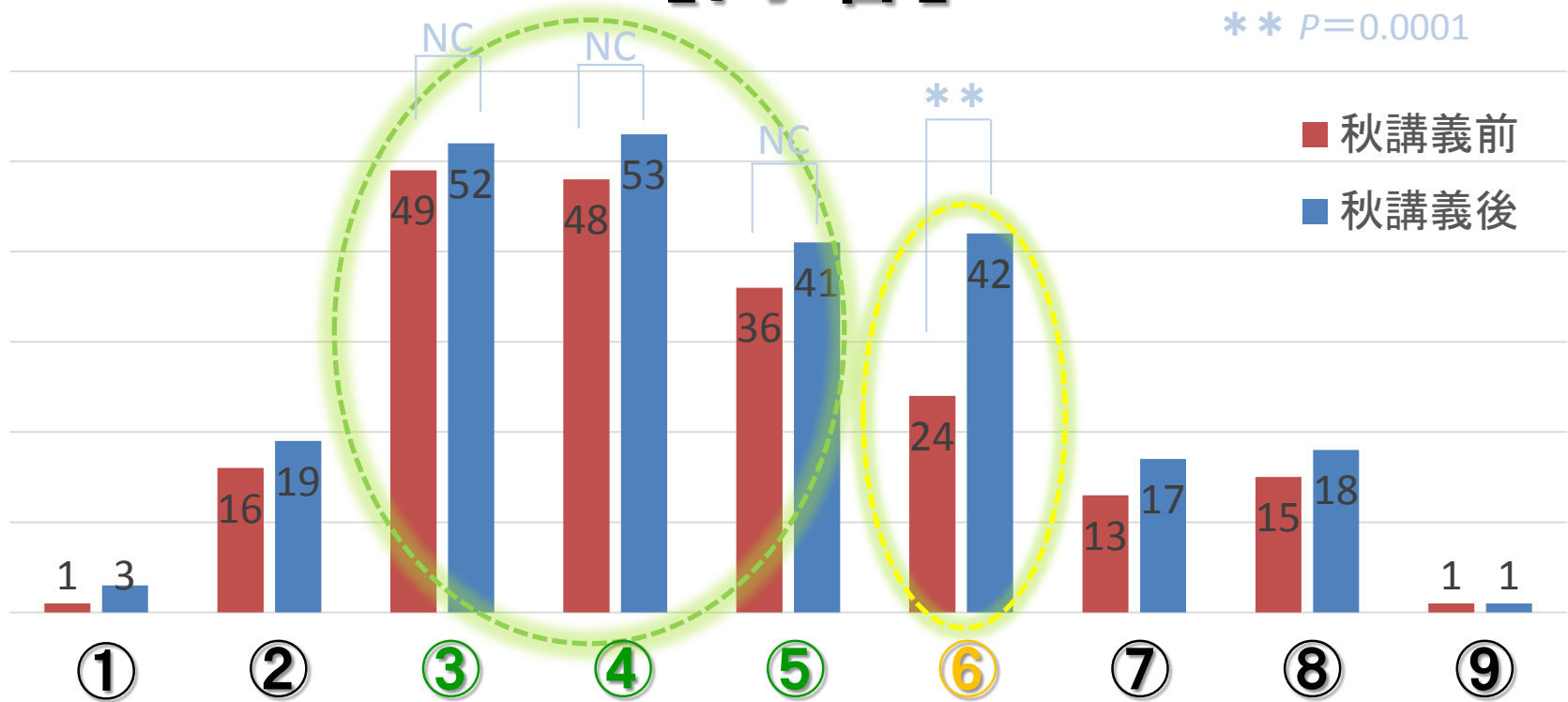
(N=65)



⇒研修医は漢方教育を受けたいと考えている

【結果3】 漢方教育について

【内容】



- | | | |
|----------|---------------|----------|
| ①歴史や古典 | ③治療効果が期待できる疾患 | ⑦漢方の基礎概念 |
| ②西洋薬との違い | ④EBMに基づく使い方 | ⑧漢方の診断方法 |
| | ⑤代表的な薬理作用 | ⑨その他 |
| | ⑥副作用 | |

⇒研修医は臨床に直結した知識を増やしたいと考えている



結 語

(結果1より)

・研修医の漢方に関する興味は定期的に教育の機会がなければ持続しがたい。

(結果2より)

・研修医のみならず、その指導医の教育の機会も必要である。

(結果3より)

・研修医に対する漢方教育においては、実際の処方へと結びつけることを意識して講義内容を工夫する必要性がある。

